



荻野社長

者300社」に選定された。制度は革新的な製品開発や海外での販路拡大による国際競争力の強化に取り組んで

大和合金

「はばたく中小企業300社」に選定

銅合金の製造・鍛造品メーカーである大和合金(本

社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)はこのほ

ど、中小企業庁から「はばたく中小企業・規模事業

いる中小企業を選定するもの。その取り組み事例を広く周知し、社会的認知度の向上を図ることが狙い。

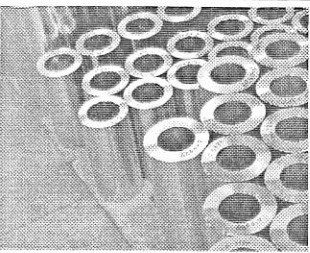
大和合金は海外での販活動を進める。

大和合金

独の展示会に出展

航空機関連素材をPR

銅合金の製造・鍛造品メーカーである大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)はきょう1日からドイツで開かれるベルリンエアショーに出展する。同社は海外で航空機関連の素材など



拡販活動などが評価されての選定。同社の特殊銅合金は航空機や新エネルギー関連など極めて高い品質が要求される分野で、海外からも多くの引き合いを得ている。特に航空機向けの銅合金販売量は世界シェア3〜4位の地位を築いており、フランスやドイツなどの大手航空機部品メーカーに製品を供給している。技術力で世界ナンバーワンの特合金材料メーカーを目指しており、産学連携に積極的に取り組んでいることも特長。

選定を受けて萩野社長は「さまざまな壁にぶつかっても、今回の選定を励みに粘り強く取り組んでいきたい」とコメント。今後海外では主力の航空機向けに加え、新エネルギーや鉄道関連などさまざまな分野で積極的な販活動を進める。

を積極的に販売。世界最大規模の航空機関連の展示会に参加することで、欧州に加えて米国などから訪れる企業にも製品をPRする。

ベルリンエアショーは2年に1度の頻度で開催されており、同社は2010年から4回連続で出展。今回はラベンディングギア向けのブッシュと呼ばれる円筒形のアルミ青銅や高力黄銅製の鍛造・押出品の写真を紹介する。展示する商品は約10点。出展に当たり東京のサポートを受けている。展示会の開催期間は6月4日までの4日間。